



日本共産党

前豊島区議会議員

2020年 12月号

森とおる NEWS

森とおる
事務所発行

東京都豊島区上池袋 3-46-2
東京都豊島区南大塚 1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-6-12 TEL 03(6912)0135

= 新しい署名活動にご協力ください =

みんなの都立病院を守ろう



都立大塚病院は都民の命と健康を守る砦

11月から都議会宛へ、都立病院・公社病院の地方独立行政法人化（独法化）に反対する新しい署名活動が始まりました。

この署名は「人権としての医療・介護東京実行委員会」（南大塚）が作成したもので、呼びかけ人は、元日弁連会長・宇都宮健児さん、精神科医・香山リカさん、

元文部科学事務次官・前川喜平さんらです。

来年に開会される第一回都議会定例会までに署名数の目標は東京全体で5万筆としています。

都立大塚病院を守るためにみなさんの力をお貸しください。署名用紙は裏面にあります。よろしくお願ひします。

新型コロナウイルス感染者激増

独法化は医療現場の崩壊に！

11月20日、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が「GOTOトラベル」の感染拡大地域の適用除外などを提言しました。これを受けて菅首相はGOTO事業の運用を見直しすることを表明せざるを得なくなりました。国民から対応が遅すぎると批判にさらされています。

コロナはすでに第3波に突入し、感染者は激増しています。これに日本医師会の中川俊男会長をはじめ専門家はGOTOトラベルが感染拡大のきっかけになったと共通した認識を示しています。

こうしたもとで、東京都が進めている都立8病院と保健医療公社6病院の独法化は医療機関の危機をもたらす、地域医療の崩壊につながりかねません。

現在も都立・公社病院は真つ先に感染者を受け入れており、懸命に対応を続けている役割は今後ますます重要になってくることは間違いないです。

すでに独法化された病院では患者負担が増加し、職員の確保が困難になるなど病院経営そのものに影響が出ています。都立・公社病院の独法化計画は直ちに中止すべきです。

くらし何でも相談

冬を目前にして新型コロナウイルスの感染者が都内だけでなく全国各地に広がってきました。

お困りごとは、一人だけで、あるいは家族だけで悩まずに、何でもお気軽にご相談ください。

各分野の専門家、労働組合、弁護士等と連携して問題解決に向けてサポートいたします。

ご連絡お待ちしております。

森とおる 03(6912)0135